

アニメが与える経済効果

小野寺 哲哉

本研究は、日本のアニメ産業がもたらす経済効果を中心に、観光、地域振興、文化的影響を含めた社会的意義について考察することを目的とする。近年、日本のアニメは国内外で高い人気を誇り、市場規模は拡大を続けている。アニメ産業は制作、配信、グッズ販売、映画興行など多様な分野に波及し、経済成長の一因となっているだけでなく、聖地巡礼を通じた観光需要の創出や地域ブランドの形成にも大きく寄与している。一方で、制作現場における低賃金や長時間労働といった課題も顕在化しており、産業の持続可能性が問われている。本研究では、統計資料や先行研究をもとにアニメ産業の現状を整理し、そのメリットとデメリットを多角的に分析したうえで、労働環境改善や地域連携の在り方など、今後の課題と展望について検討した。アニメは経済的価値のみならず、文化・教育・国際交流にも影響を与える重要な産業であり、今後も日本社会を支える基盤の一つであることを明らかにした。